

令和4年（2022）12月1日～12月6日

令和4年度（2022）

第5回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和4年度（2022）第5回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

12月1日（木） 10:00 開会			12月2日（金） 10:00 開会			12月5日（月） 10:00 開会			12月6日（火） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	岸道三	10	1	大場利信	17	1	吉井安見	23 ～ 24
2	錦織稔	4	2	後藤由美	11 ～ 12	2	鐘推義憲	18	2	本田一勇	25
3	南浩二	5	3	西村亮	13	3	高橋扶治夫	19	3	寺本淳一	26
4	大谷良治	6	4	今岡久人	14	4	板倉一郎	20			
5	湯浅万里子	7	5	福田実	15	5	児玉俊雄	21			
6	石橋広信	8	6	木佐宏	16	6	宮本享	22			
7	保科孝充	9									

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市デジタルファースト推進計画について	
<p>① 推進計画実現に向けたロードマップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 業務量調査の実態（コア業務・ノンコア業務） イ システム構築・改修の現状と今後の課題 ウ 出雲市独自の申請システムの内容と目標 エ 現在の押印廃止可能な手続きの廃止率と目標 オ 市税・手数料等のキャッシュレス決済の現状と課題 カ 引越しワンストップサービスに向けた情報収集 キ 避難行動要支援者・個別避難計画管理システムの現状 ク デジタルを活用した不登校対策の現状と目標 ケ RPAによる業務効率化の現状と目標及び課題 コ 電子化によるペーパーレス化の課題と目標 	
(2) 令和5年度に向けての農業政策について	
<p>① 令和5年度予算概算要求について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 今回の概算要求の特徴 イ 畑作物本作化推進事業の内容 ウ 鳥獣被害防止総合対策におけるICTの活用 <p>② 農業委員の女性参画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 全国の状況と出雲市の状況 イ 女性が登用されない理由 ウ 来年改選に向けての考えと今後の目標 エ 女性の登用に期待することとは 	

質問者	13 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) スポーツ・レクリエーション施設の拡充・整備を	
<p>① 東京オリンピックでは、東京が提案した野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技全てがI O Cに採択され、追加競技として実施されました。2024年開催のパリオリンピック組織委員会はスポーツクライミング、サーフィン、スケートボード、ブレイキンを追加種目提案候補に挙げています。また、2028年開催のロサンゼルスオリンピック組織委員会より追加競技候補リストが公表され、フライングディスク競技は選考候補から外れましたが、追加競技入りが検討されるのは、野球・ソフトボール、ブレイクダンス、クリケット、フラッグフットボール、空手、キックボクシング、ラクロス、モータースポーツ、スカッシュと種目も多様化しています。市内の高校生が思う今後のまちづくりに向けて重要だと思う取組みの3位に「スポーツの場の拡充と整備」があります。若者に興味・関心がある施設を新設する必要があると考えます。本市のスポーツ施設について見解を伺います。</p> <p>ア 若者のニーズをどのように把握されているのか伺います。</p> <p>イ 市内のスポーツ・レクリエーション施設の種類、数、質の現状をどう評価されているのか伺います。</p> <p>ウ 若者に興味・関心のある施設の拡充・整備について見解を伺います。</p>	
(2) 地球温暖化対策について	
<p>① グリーンライフ・ポイント制度の導入について 「グリーンライフ・ポイント」とは、環境省が実施する事業で「環境に配慮した行動に対してポイントが付与される制度」です。日本は2030年までに温室効果ガス排出量を46%削減(2013年比)することを米国主催気候サミット(2021年)で表明しています。期限まで残り8年と迫っているなか、日本の温室効果ガス排出源の6割以上が衣食住の分野です。従って、国や企業の努力だけでは難しく、市民一人ひとりに意識してもらおう施策が必要です。</p> <p>ア グリーントランスフォーメーションについて、どのように考えているのか伺います。</p> <p>イ 日本の温室効果ガス排出源の6割以上が衣食住の分野ですが、市民のライフスタイルの転換に対する取組みについて伺います。</p> <p>ウ 環境問題に積極的に取り組んでいる企業と連携して、グリーンライフ・ポイント制度を導入し、一人ひとりが環境問題を自分ごととし、環境に配慮したライフスタイルの転換への気運を高めることも有意義かと思いますが、見解を伺います。</p> <p>② ウォームビズは、環境省が主導しているキャンペーンで、冬期における地球温暖化対策の一環として、2005年の秋から始まりました。「暖房時の室温を20℃(目安)で快適に過ごすライフスタイルを推奨する」としています。ウォームビズの取組みについて伺います。</p> <p>ア 温室効果ガス排出削減に向けた、公共施設での取組み</p> <p>イ 職員のウォームビズについて</p> <p>ウ 温室効果ガス排出削減に関する市民への広報</p>	

質問者	2	南 浩 二
-----	---	-------

質問事項・質問内容

(1) 新規就農者の目標数設定と就農後の経営支援について

- ① 出雲市全体を守っていくために、新規の農業従事者をどのくらい増やす必要があるのか、市として5年後、10年後くらいまでの流れも想定をしながら、市内にある各地域の現状もきちんと調べた上で、認定新規就農者の現在の目標設定人数の妥当性を検証し、今後、雇用就農者など含めた新規農業従事者全体の確保について、目標設定を行っていく必要があると考えますが、市の見解を伺います。
- ② 上記と関連して目標数設定に向けては、まず現状を把握する必要があると考えます。認定新規就農者以外に、新たに農業を始めた人が年間あたりどの程度いるのか、雇用就農含めた直近5年間の年度ごとの人数と就農地域を伺います。
- ③ 最大5年間の農業次世代人材投資資金（今年度からの名称は経営開始資金、過去は青年就農給付金、以下「給付金」という。）受給が終わった後の直近3年間の年度ごとの平均所得及び対象人数を伺います。
- ④ ぶどうを主に栽培している農家で、給付金受給が終わった後の直近3年間の年度ごとの平均所得及び対象人数を伺います。
- ⑤ 認定新規就農者は、給付金受給中から受給終了後も3年間は、就農状況報告として経営状況や決算書などの提出をしていますが、市は報告書を確認した上で、自営就農で自立していく上での目標所得を下回るなど経営課題がある農業者に対して、現状どのような支援をしているのか、またさらなる支援としては、どのような支援が考えられるか伺います。

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 中小製造企業（地場産業）にむけた取組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 中小製造企業に対する取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ア 取組み内容の現況（商品開発・マッチング、販路拡大、啓発等） ② ものづくり人材の育成について <ul style="list-style-type: none"> ア 人材の確保にむけた取組み ③ デジタル技術導入支援等 <ul style="list-style-type: none"> ア 取組みと事例等について 	
(2) 広報・広聴の取組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの取組みについて ② ホームページやSNSといったオンライン上での広報活動における効果等 ③ 広報・広聴全般の今後の課題、方向性等について伺う 	

質問者	4 湯 浅 万 里 子								
質問事項・質問内容									
(1) ユニークで大胆なふるさと納税について									
<p>① ふるさと納税については、年々少しずつ寄附件数、寄附額がともに増加しているが、積極的に取り組めば、市のあらゆる事業に充当できて市民にも喜ばれ、返礼品事業者も売上額が上がって、喜んで納税いただけるならば、誰にとっても良いことです。</p> <p>ア 今後の寄附額を積極的に伸ばすためにどのような取組みをしますか。</p> <p>イ 納税ポータルサイトの導入後の変化はありましたか。</p> <table data-bbox="414 638 798 772"> <tr> <td>ふるさとチョイス</td> <td>H 2 6</td> </tr> <tr> <td>ふるなび</td> <td>H 3 0</td> </tr> <tr> <td>楽天ふるさと納税</td> <td>R 3 . 9</td> </tr> <tr> <td>さとふる</td> <td>R 4 . 4</td> </tr> </table> <p>ウ 返礼品の数も種類も豊富ですが、選んでいただけないものもあるとすれば返礼品事業者も残念です。見直しがすぐにできる体制となっていますか。</p> <p>エ ガバメントクラウドファンディング事業について、自治体が地域の課題解決や未来のために使い道を示した資金調達の方法、そして地域内外へのプロモーションを通しプロジェクト協力者を獲得できるメリットもあります。現在進行中の事業がありましたら教えてください。</p> <p>オ ふるさと納税の寄附金は、主にどんなところに使われていますか。</p>		ふるさとチョイス	H 2 6	ふるなび	H 3 0	楽天ふるさと納税	R 3 . 9	さとふる	R 4 . 4
ふるさとチョイス	H 2 6								
ふるなび	H 3 0								
楽天ふるさと納税	R 3 . 9								
さとふる	R 4 . 4								

質問者	5 石橋 広 信
質問事項・質問内容	
(1) 健康寿命延伸に向けた取組みに関して	
<p>① 現在の出雲市の健康寿命に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 男性と女性の健康寿命に関する直近のデータ イ 平均寿命から見る健康寿命の考え方 ウ 現在、出雲市で行われている事業について <p>② 現在の高齢者の方々の集いの場の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域別の施設と参加状況 イ 参加された方々の声 ウ 今後の取組み <p>③ 若い世代の方々向けの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 若い世代の方々向けの取組みの内容 イ その反応 <p>④ 企業向けの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 企業の取組み内容 イ その反応 <p>⑤ 県との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 県の取組みとそれに対する出雲市の関わり <p>⑥ 今後の出雲市の取組みに対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 他地域の取組みに対しての考え イ 次回の健康寿命調査に向けて ウ 今後の出雲市の健康寿命の延伸に向けての取組み 	
(2) 子宮頸がんのHPVワクチンの定期接種に関して	
<p>① HPVワクチンについて、本年4月より定期接種対象者への積極的勧奨が9年ぶりに再開されました。</p> <p>そこで、出雲市の積極的勧奨再開に伴う対応と現状についてお伺いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 積極的勧奨再開にあたり定期接種対象者およびキャッチアップ対象者への周知はいつ、どのように行いましたか。 イ 今年度直近までの接種率はどのようになっていますか。また、勧奨再開後の市民の皆さんの反響はいかがでしたか。 <p>② 現在定期接種やキャッチアップ制度で使用できるHPVワクチンは2価ワクチンと4価ワクチンとなっています。これらよりも高い感染予防効果があるとされる9価HPVワクチンについて厚生労働省は来年4月以降の早い時期から定期接種する方針と報道されています。(2022年11月8日、厚生労働省専門部会が来年4月1日からの方針を決める)</p> <p>そこで9価HPVワクチンと定期接種化の対応についてお伺いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 9価HPVワクチンの効果や安全性について イ 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う出雲市の対応、対象となる方への周知方法について 	

質問者	24 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) こども家庭庁設置に伴う出雲市の支援策について	
<p>① 令和5年4月に、政府は子どもや若者が自分らしく成長できる社会を目指して「こども家庭庁」を設置します。 設置に伴って出雲市における子どもあるいは子育て世代への支援策が充実するものと期待しますが、出雲市の現状と今後の政策を伺います。</p> <p>ア 近年20年間5年ごとの出生数と今後の予測</p> <p>イ 不登校児童について</p> <p> a 小学校・中学校（出雲市全体）ごとの過去5年間の実態</p> <p> b 不登校児童対策施設の実態…施設名と通学する児童生徒数</p> <p> c 施設に通学した効果と課題</p> <p> d フリースクールなど子どもの居場所の設置状況と民間事業者が設置した場合の支援策を伺う</p> <p>ウ ひとり親家庭の実態…小学校・中学校ごとに過去5年間の実態</p> <p>エ 教育格差をなくすための奨学金制度について</p> <p> a 出雲市在住者で奨学金を受けている高校生・大学生の実態</p> <p> b 受給希望者はどのような方法で申し込むのか。ただ単に希望者を募るだけなのか。</p> <p>オ 令和4年10月現在で、令和5年4月からの実施にあたって、国はどんな施策を施行し、各自治体にどんな事業を求めているか。また、出雲市における具体的な支援策はどのように考えているか。</p>	
(2) 高齢者・障がい者へのごみ出し支援策を伺う	
<p>① 環境省では令和2年3月に地方公共団体向けの「高齢者ごみ出し支援制度導入の手引き」を発行しました。 平成30年度調査で全国387市町村、23.5%の自治体で実施されているとの調査報告があります。出雲市における高齢者・障がい者へのごみ出し支援策はどのようになっているか伺います。</p> <p>ア 支援策の方法と実態</p> <p>イ 市内の旧市町村ごとの支援を受けている住民の数</p> <p>ウ 該当者への広報・啓発活動・把握方法</p> <p>エ 実施自治体へ国からの交付税措置があるようだ。高齢化率も年々上昇し、支援を求めている方も多いと感じる。もっと積極的に取り組む必要があると思うがいかがか。</p>	

質問者	17 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 農村RMOへの取組み支援について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 佐田地域づくり協議会における「農村RMO形成推進事業」の具体的計画と進捗状況 ② 市としての関わり方と役割 ③ 国の採択状況と今後の展開 ④ 中山間地域における持続可能な地域づくりを支援するための市の施策 	
(2) 一元化される個人情報保護法制に対応する条例改正について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 今回の改正法についての市としての所感 ② 個人情報保護条例改正にあたってのプロセスとスケジュール ③ 今後の個人情報保護制度運営審議会の役割 	

質問者	1 1 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 介護保険改定による市民や介護事業者への負担増について	
<p>① 国は10月31日、介護保険制度改定に向け議論している社会保障審議会の部会で、見直しの論点を提示しました。利用料2割、3割負担の対象拡大、要介護1、2の訪問介護などの保険給付外し、ケアプラン有料化など、7項目の論点は介護関係者が「史上最悪」とよぶもので、耐えがたい負担増と給付減を押しつける中身になっています。政府は年内とりまとめを狙っていますが、「介護保険制度の改定案は絶対認められない」と、介護労働者や事業者、介護家族、医師などが全国で運動をおこなっています。</p> <p>市内でも介護保険利用者や事業者から、不安・批判が起きており、この改定案は止めなければなりません。そこで伺います。</p> <p>ア 今回国が示した介護保険改定案に対する意見を、利用者や介護事業者など関係団体に聞き、国に届ける必要があります。そのために市として、緊急影響調査・アンケートに取り組み、実態をつかむべきです。市の所見を伺います。</p> <p>イ 改定案の一つが、要介護1、2を「軽度者」として訪問・通所介護などを保険給付から外し、市が運営する「総合事業」へ移行させようとしていることです。要介護1、2の訪問・通所介護の保険外しは、介護状態を悪化させる高齢者を増やし、かえって介護給付費を増やすことになり、「軽度者外し」は認められません。市はどう認識していますか。</p> <p>ウ ケアマネージャーの団体が強く反対しているのが、「ケアプラン（介護計画）の有料化」です。市内事業所のケアマネージャーからは、「『ケアプランの有料化』になると今以上に仕事が増え、手間もかかる。事務員をとることもできない。」「利用者にとっては作成料が足かせとなり、利用を控える人が出てくるのでは」など、様々な反対意見が出ています。市はケアマネージャーの意見を聞き、国に届け、改善を求めるべきです。所見を伺います。</p>	
(2) 特別養護老人ホームへの入所待機者解消について	
<p>① 特別養護老人ホームに入りたくても入れない待機者は依然多くいます。特別養護老人ホーム待機者が多い背景には、高齢世代の貧困があります。低年金・低所得の人が要介護状態になったとき、最後まで入居できる施設は特別養護老人ホームしかありません。出雲市は、2024年度からの「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定に向けた準備をしており、特別養護老人ホーム待機者解消のための計画を策定する必要があります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 現在、市内にある特別養護老人ホームの施設数、定員数（ベッド数）、そして待機者数を伺います。特別養護老人ホームを希望しているが、一時的に他の施設に入っている人数も伺います。</p> <p>イ 市は「第6期計画（2015年～2017年）」中に60床増床して以来、施設もベッド数も増やしていません。年金削減、医療費負担増、コロナ禍、物価高騰などで生活は益々大変になり、待機している人は切迫しています。「保険料はきちんと払っているのに希望する特別養護老人ホームに入れたい」と、切実な声が寄せられています。今度の「第9期計画」では施設の増設、増床を求めます。市長の認識を伺います。</p>	

(3) 高齢者運転免許自主返納支援事業の終了について

- ① 市は9月議会において「高齢者運転免許自主返納支援事業」を来年3月末で終了すると報告しました。6年前に始まったこの事業は、70歳以上の免許を返納された方にタクシー券等を5000円分交付するものです。廃止する理由として、高齢ドライバーの交通事故が取り上げられる中、自主返納制度は広く市民に認知され、毎年多くの方が免許を返納されていること、交付したタクシー券の使用状況が振るわない状況であることとしています。しかし、事業廃止については様々な意見が上がっています。

そこで伺います。

- ア 「高齢者運転免許自主返納支援事業」の終了については、「せっかくの事業なのにやめるのは納得いかない」「これがなくても免許は返納される人が増えているのだから、返納した人に対する支援の気持ちとして事業を続けてほしい」「6割の人しか交付された券を使用していないというが、6割の人が使っているのだから、やめなくてもいい」「6割が少ないのなら、増えるよう検討すべき」などです。この市民の声に応え、事業終了ではなく、継続を求めます。市の所見を伺います。

質問者	21 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) 少子化対策と今後の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ① 結婚までの積極的な取組み、支援策、課題 ② 産前・産後の医療ケアと支援策 ③ 出産一時金等施策の拡充 ④ 第一子から後の子どもに関する支援・助成と今後の拡充策 ⑤ 子どもの医療ケアと医療費の無料化に向けた取組み、施策 ⑥ 子どもの教育の充実と教育費の無料化に向けた取組みを問う ⑦ 子どもの教育方針と課題、今後の取組み指針を問う 	
(2) 規制改革と地域の活性、発展を問う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 規制の緩和、柔軟な対応 ② 農業振興地域除外の有無 ③ 農地転用に係る考え方、市民の意向 	

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) トキの放鳥にむけて	
<p>① 5月の「里地選定応募」から、8月の候補地に決定した今年は、出雲市にとって大きな喜びを迎えた年でした。しかし、それにも増して責任と努力を問われることとなります。本市はこれまで「分散飼育」に特化した取組みを進めてきました。ですが、今後は放鳥という事業に向かうこととなりますが、現在の体制でできるとお考えですか。</p> <p>② これまでの市職員2名体制で、今後の事業を継続できるとお考えか伺います。</p> <p>③ 里地として選定された後の取組みは、どのように進捗していますか。各項目についてお聞かせ下さい。</p> <p>ア 餌場(ビオトープ)の配置</p> <p>イ ねぐらとなる森林の状況</p> <p>ウ 放鳥に向けて訓練場となる施設を作りますか。</p> <p>④ 石川県は能登半島地方の市・町が共同で応募され選定されました。出雲市は単独で取組みを進められますか。</p> <p>ア 「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」との関連性</p> <p>イ 島根県をはじめ他の市などとの連携</p> <p>⑤ 出雲市トキによるまちづくり推進協議会により、「トキによるまちづくり構想」が述べられております。トキの放鳥という事業を、出雲市のまちづくり構想に挙げるのなら、何故もっと市民はじめ広く社会に向けて広報・宣伝活動を行わないのですか。</p> <p>ア 市の公用車にステッカーを貼り市内を走る方法</p> <p>イ 出雲空港に大型の看板を設置して搭乗者に知らせる方法</p> <p>⑥ 昨年12月議会で質問した後、私が独自に行ったアンケートを執行部にお渡ししましたが、そのアンケートはご覧になりましたか。 そして、その時の意見を参考にされることはありませんか、伺います。</p>	
(2) 出雲市の観光産業について	
<p>① 出雲圏域の観光産業全体で、宿泊施設数と受け入れ能力をどのようにお考えですか。</p> <p>② 観光客の皆さんの、圏域内観光地間の移動方法についてどのような対策をお考えですか。</p> <p>〈例〉 空港 ⇄ 出雲大社 ⇄ 出雲市内 出雲大社 ⇒ 平田 ⇒ 佐田 ⇒ その他</p> <p>③ 日本国内外に向けて、様々な方法で情報発信をされていますが、効果をどのように評価されていますか。</p> <p>ア 観光課、インバウンド推進室、文化国際室等から発信されていると思いますが、成果はどうでしたか。</p> <p>④ 目指す出雲の観光産業はどうあるべきと考えますか。あるいはどのような形で発展したら良いとお考えですか。</p>	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 労働者（建設業）担い手不足対策について	
<p>① 本市においても労働者（建設業）担い手不足は、継続的な大きな問題となっております。そこで労働者（建設業）担い手不足対策について市の見解を伺います。</p> <p>ア 現在の生産年齢人口数と総人口数との割合。</p> <p>イ 10年後に予想される生産年齢人口数と総人口数との割合。</p> <p>ウ 現在の業種別従業員数の割合</p> <p>エ 出雲市全体の業種バランスをどう分析しているか。</p> <p>オ 労働者（建設業）担い手不足に対する市の具体策を伺います。</p>	
(2) 除雪・支障木対策について	
<p>① 今年度の冬は降雪量が平年並みか多いという予報が出ています。出雲市における除雪・支障木対策について伺います。</p> <p>ア 出雲市の市道の数、総延長距離を伺います。</p> <p>イ 除雪を請け負っておられる業者数（旧2市5町ごとに）を伺います。</p> <p>ウ 市道平田松江幹線（宍道湖北部広域農道）、通称簸川南広域農道の除雪、支障木対策を伺います。</p> <p>エ 今冬の除雪・支障木対策を伺います。</p> <p>オ 市の今後の支障木対策を伺います。</p>	

質問者	1 5 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
(1) 見過ごせない市民不在の出雲市政、平成の世直し人は一般質問を振り返り腑に落ちない点について、提言添えて 飯塚俊之市長の姿勢を質す。	
<p>① 一步も進まない旧平田行政区の総合防災施策について、飯塚市長に質問をしたが、執行部の誰が答弁しても同じだとの奇弁でごまかし、建設部長に答弁をさせた。後日、建設部長にも直談判した（出来ないなら出来ないとけじめをつけるべきと）が、自らが解決しますと応答された。しかし、何一つ一步も進展せず3月退職。余りにも無責任な所業。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策について、昨年7月回答のあった、保育所、幼稚園、小学校低学年の本市設置における、水道の蛇口の自動化を提言した。市長も教育長も検討課題との回答あり、その後も連日市長、議長、教育長発信の新型コロナウイルス感染症発生状況書面が発信され続けており、1年以上経過を踏まえ再度、当該課題について即刻対応を要請したが、それこそ1ミリも前進しない書面回答。正に主権者不在の市政施策。</p> <p>③ 会計年度任用職員の正規職員採用を提言要請した。特に就職氷河期35歳から55歳年齢層職員は男女を問わず、子育ての中でも特に教育費に影響多大、それぞれの子どもの人生に、将来に不公平、不公正か余儀なくされ貧困の連鎖に繋がることが懸念される。飯塚市長は確か「思いはおなじ」と回答されたように記憶しているが、その後の改善施策の進捗や如何に。ここでも「弱者に寄り添う」とか、「誰ひとり取り残されない」とか、机上の空論が一人歩きしていませんか。 本市に縁があつて就職採用なされた方々に余りにも無責任な行政施策。前長岡秀人市長の多々課題有る施策の踏襲は、自らの理念の施策市政へ変革願う。</p>	

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 建設工事における週休2日工事の導入について伺う	
<p>① 建設業における人材の確保・育成のため働き方改革を推進することが喫緊の課題となっていますが、その一つとして週休2日工事の導入について伺います。</p> <p>ア 働き方改革が叫ばれている中で、週休2日工事をどのように考えておられるのか伺います。</p> <p>イ 市は令和4年4月から出雲市週休2日工事試行要綱を定め、希望する建設業者による試行が始まっていると聞いていますが、その内容を伺います。</p> <p>ウ この制度を円滑に実施していく上で、市側の課題としては、例えば工事発注の平準化や早期発注が求められると考えますが、これについての見解を伺います。</p> <p>エ また、受注者側（業者側）に求められる課題として、下請業者や一人親方に理解を求め円滑に実施されることが不可欠と考えますが、これについて伺います。</p>	
(2) 市街地における“内水排除対策”について伺う	
<p>① 市街地における“内水排除対策”について、以下伺います。</p> <p>ア 令和3年7月豪雨で把握されている市全体の道路冠水の箇所数を合併前の旧市町ごとに伺います。</p> <p>イ 次の2箇所について、内水が滞留する原因と対策について伺います。</p> <p> a 出雲市渡橋町</p> <p> b 斐川町上直江沢田地区</p> <p>ウ 市全体の今後の内水排除計画と対策について伺います。</p>	
(3) ミュージカル「あいと地球と競売人」について伺う	
<p>① このミュージカルが11月20日に斐川文化会館で公演されました。出雲市での公演は、1994年（平成6年）、2005年（平成17年）に次ぐ3回目の公演で、今回も好評のうちに終わりました。このミュージカルについて、以下伺います。</p> <p>ア SDGsが叫ばれる中、環境と教育の両面から市民の皆様に訴える効果が大きかったと考えますが、感想も含めて伺います。</p> <p>イ 今後も市内で公演されることがあると思われませんが、実行委員会への支援、例えば会場の確保や広報などについて伺います。</p>	

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 「山陰道スマートインターチェンジの整備と活用」に向けた本市の取組方針について伺う	
<p>① 山陰自動車道（略称：山陰道）は、現在、急ピッチで整備が進められており、近い将来、東西に長い島根県を結ぶ大動脈が完成する予定です。 今後は、山陰道の整備による効果を十分に享受していくことが肝要であり、出雲市の将来を展望する時、市南部地域へのスマートインターチェンジの整備は必要不可欠であると考えます。 そこで、山陰道スマートインターチェンジ整備と活用に向けた本市の取組方針等について、次のとおり所感を伺います。</p> <p>ア スマートインターチェンジの定義について イ 全国のスマートインターチェンジの整備状況及び整備効果事例について ウ 本市における、スマートインターチェンジ整備の必要性及び想定される整備効果について エ 今後の本市の取組方針について</p>	
(2) 地域の活性化に向けた「労働者協同組合」及び「特定地域づくり事業協同組合」への取組方針について伺う	
<p>① 労働者協同組合法が本年10月1日より施行されました。この法律に基づく「労働者協同組合」は、協同労働という新しい働き方により、幅広い分野において多くの事業を展開できることから、多様な雇用機会の創出、地域社会の様々な課題解決、地域活性化等、大きな効果が期待されています。 また、人口急減地域特定地域づくり推進法が令和2年6月4日に施行され、この法律に基づく「特定地域づくり事業協同組合」には、地域人口の急減している地域における、地域づくり人材の確保・労働者派遣を通じた、地域社会の維持と地域経済の活性化への効果が期待されています。 この2つの組合の活動は、いずれも地域の様々な課題の解決、及び地域の維持・活性化に向けて大変有意義であり、今後、本市として取組みを強化していく必要があると考えます。 そこで、次の点について伺います。</p> <p>ア 労働者協同組合について a 制定の目的、内容および制度について b 全国及び島根県内の設立組合数と活動の現状について c 労働者協同組合法施行後の本市の取組状況について d 今後の本市の取組方針について</p> <p>イ 特定地域づくり事業協同組合について a 制定の目的、内容および制度について b 本市における、取組の現状について c 他自治体での取組事例について d 今後の本市の取組方針について</p>	

質問者	7 高橋 扶 治 夫
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の公共施設の適正管理について	
<p>① 平成27年3月に「出雲市公共施設のあり方指針（第1次）」を策定され、翌年の平成28年3月には「出雲市公共施設等総合管理計画」を策定されました。この間、行財政改革の一貫としてさまざまな公共施設の見直しをしてこられました。この総合計画策定の目的は、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことによる財政負担の軽減や平準化を図るものであり、また公共施設等の最適な配置を実現させることにあります。これを綿密にするために、数値目標の設定や地方公会計による固定資産台帳の活用を進められているのであります。今まで合計61施設について廃止、民間譲渡及び管理改善等に取り組んできておられます。また「出雲市公共施設のあり方指針（第1次）」の中では203施設を対象を絞り、今後の公共施設のあり方を検討されているところです。</p> <p>出雲市の現状について3点質問します。</p> <p>ア 平成27年度から令和4年度までの「出雲市公共施設のあり方指針（第1次）」の取組みによる延床面積の削減率と全体的な成果を伺います。</p> <p>イ 出雲市全体の公共施設の保有量の適正化の課題と今後の方針を伺います。</p> <p>ウ 出雲市の地方公会計における統一的な基準による固定資産台帳の整備状況について伺います。また固定資産台帳の活用の考え方を伺います。</p>	
(2) 出雲市民会館とその他の市民ホールについて	
<p>① 現在、出雲市において芸術文化振興のために取り組んでいる「出雲芸術アカデミー」の事業や「出雲芸術文化振興財団」の事業には、多額の費用を必要としています。さまざまな事業をしていくには、文化庁の補助金が付くか付かないかはたいへん重要です。そのためには地域文化振興に向けての拠点づくりや機能強化などを推進することによって、文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」や新たな事業である「劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業」などの採択が必要であり、文化庁から補助金対象になりやすい環境、つまり文化芸術を創造していく拠点をくわっていくことがこれからは重要だと考えます。そのためにも劇場型の出雲芸術アカデミーが望まれると思います。2点質問します。</p> <p>ア 「出雲芸術アカデミー」の拠点となっているのは「出雲交流会館」ですが、老朽化がひどいので、中心市街地にある出雲市民会館やビッグハート出雲に、その拠点を移すべきではないかと考えますが、市の所見を伺います。</p> <p>イ 市内にある市民文化施設の中の文化行政上重要な出雲市民会館やその他の市民ホールについて、今後の計画や方針を伺います。</p>	

質問者	27 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 水害時における車両による避難について	
<p>① 洪水時の避難は、車両による移動をおこなう人が多いと考えます。昨年の水害時にも、浸水の被害にあわれた多くの市民の方が、車両の浸水被害を防ぐために車両の移動をしていました。今後も水害発生時には、多くの市民の方が車両による避難をされると考えますが、市は車両による避難について、どのように考えているのか次の点を伺います。</p> <p>ア 車両による避難についての考え方について伺う。</p> <p>イ 車両による避難をする場合、出雲市では、出雲高校や工業高校など高いところにある高校のグラウンドや、浜山公園などの公園の駐車場、大型ショッピングセンターの立体駐車場などが想定されるが、それらの場所の活用はどうか伺う。</p> <p>ウ 水害時の車両による避難場所についての市民周知について伺う。</p> <p>エ 現在の避難場所についても、出来るだけ高い場所へ見直す考えはないか伺う。</p>	
(2) J-クレジットを活用した森林保全の取組みについて	
<p>① 出雲市は、環境省の「トキの野生復帰を目指す里地」に決まりました。今後、ねぐらや営巣場所となる森林の整備など、放鳥に適した環境の整備などが求められ、ますます森林保全への取組みが必要となります。</p> <p>そこで、他県でも、実施されているJ-クレジットを活用した森林保全の取組みを出雲市の公有林でも実施してはと見え、次の点を伺います。</p> <p>ア J-クレジットの制度の概要及び出雲市での取組みについて伺う。</p> <p>イ 出雲市の森林面積及び市公有林の面積、またクレジットにした場合の量及び金銭的価値について伺う。</p> <p>ウ 森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジット化し、販売した収入を森林整備費用にあてる仕組みに取り組む考えはないか伺う。</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 消防団改革と団員確保対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 昨年11月の中間答申の内容とそれに対する対応状況を伺います。 ② 本年度の消防団改革推進委員会の開催状況と審議内容を伺います。 ③ 消防団の定員を含む組織再編の検討がどのように進んでいるのか伺います。 ④ 消防団員の確保対策の検討がどのように進んでいるのか伺います。 	
(2) 地域産業への「トキの恩返し」について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲のトキのブランド化と特産品開発の進め方を伺います。 ② トキによる農業振興と耕作放棄地対策の進め方を伺います。 	

質問者	29 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) ウイズコロナにおける出雲市の観光戦略について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市の観光客入込数と宿泊者数は、どの程度回復したか ② ウイズコロナにおける出雲市の観光戦略について ③ 新しい観光ルートの造成について 	
(2) 市役所周辺における市有地の有効活用について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 公用車駐車場（旧出雲市役所跡地）の有効活用について ② 来客用駐車場の拡張について 	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) 旧統一協会問題について	
<p>① 旧統一協会は、正体を隠した伝道や靈感商法などの活動について違法性が指摘されている。同時に、政治家や行政への接近、浸透を図っている実態が次々と明らかになっている。議会や行政が主催、後援をしている集会に関連団体の幹部が講師として招かれている。</p> <p>ア その中で、家庭教育支援条例などの推進とともに、同性婚や性的マイノリティいわゆるLGBTQなどを否定する内容の講演を行っているが、この考え方は出雲市が進める施策と同じ方向を向いているのか、所見を伺う。</p> <p>※日本共産党は、「旧統一協会」（世界平和統一家庭連合）の表記を「統一協会」としています。統一協会は2015年に「世界基督教統一神霊協会」から現在の名称に変更しました。しかし靈感商法や集団結婚などで社会的批判をあげてきたカルト集団であることに変わりなく、政府が名称変更を認めたこと自体が不当だと考えるからです。</p>	
(2) 子どもたちが快適に過ごせるよう学校トイレの改善を	
<p>① 学校は子どもたちが安心して学び生活を送る場所である。一日のうち長い時間を過ごす学校は、子ども、教職員が健康的に過ごせる生活環境であってほしいとの声が寄せられている。不安なく通える学校にするためにも学校施設の改修が待たれている。</p> <p>ア 老朽化した便器や壁、間仕切りについて早急な改修を実施することを求めるが、市の所見を伺う。</p> <p>イ 現在の湿式トイレから乾式トイレへの移行を求める声があるが、市の考えを伺う。</p> <p>ウ 学校施設は、災害時には地域の避難所としても使用される。多様性の観点からトイレのあり方を検討すべきと考えるが、所見を伺う。</p>	
(3) 物価高騰から医療機関・福祉施設を守る支援を	
<p>① 物価高騰は市民生活や企業の経営に深刻な影響をおよぼしている。新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続くなか、医療機関や介護・福祉施設にも大きな打撃となっている。</p> <p>ア 市内の医療機関や介護、福祉施設への影響調査と、実情に見合った施策の実施を求めるが、市の所見を伺う。</p>	
(4) インボイス（適格請求書）制度は中止を	
<p>① 政府が来年10月から導入を予定しているインボイス（適格請求書）制度は、小規模事業者やフリーランスで働く人々に、インボイスを発行するために消費税課税業者になることを余儀なくさせ、負担増をもたらす。2021年度の消費税の新規滞納発生額は5,121億円となり、コロナ前の2019年度比で1,000億円以上も増えており、消費税が払えなくて倒産、廃業する事業者が続出することが懸念されている。</p> <p>ア インボイス制度が市内事業者に及ぼす影響について、市の認識を伺う。また、免税事業者や取引事業者からはどのような声が上がっているか、伺う。</p> <p>イ 入札などへの参加資格にインボイス登録を加える自治体も出てきている。公共工事や公共調達から小規模事業者を切り捨てる行為はあってはならないと考えるが、市の所見を伺う。</p>	

ウ インボイス制度の導入を中止するべきと考えるが、市の認識を伺う。

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 中学生の英語教育と課外活動について	
<p>① まずは、現在の中学生の英語教育について伺います。</p> <p>ア 今の中学校英語教育の目標は何でしょうか。中学生がどんなふうになることを望んでいるのか伺います。</p> <p>② 中学校の校務員の仕事を伺います。</p> <p>ア 校務員が課外活動の中で、得意分野を生徒たちに教えることは可能でしょうか。</p>	
(2) 田舎にどうやって光を照らすか	
<p>① コロナ収束後のくにびきマラソン大会の魅力化について</p> <p>ア くにびきマラソン大会について</p> <p> a コロナ前の大会の参加人数</p> <p> b 島根県外の参加人数</p> <p>イ 来年の大会の特徴は何かありますか。</p>	

質問者	19 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) フリースクールについて	
<p>① 不登校児童生徒への支援については、関係者において様々な努力がなされ、児童生徒の社会的自立に向けた支援が行われてきていますが、依然として高水準で推移しており、生徒指導上の喫緊の課題となり、出雲市も例外ではありません。このような状況において、民間によるフリースクールが各地で増えてきています。このフリースクールとはどのようなものか伺います。</p> <p>ア 市内にフリースクールは何カ所あるのか。また通っている児童生徒数は。</p> <p>イ フリースクールと教育支援センターとの違いは。</p> <p>ウ フリースクールはどのようなタイプがあるのか。</p> <p>エ フリースクールに通った場合の出席認定はどうなるのか。また進学に影響はあるのか。</p> <p>オ フリースクールに対する所感と国の動向</p>	